

一般社団法人 千葉県社会福祉士会

2022年度 第8回理事会議事録

1. 開催日時 2023年3月12日(日) 10:00 ~12:00

2. 会場 ZoomによるWeb会議

3. 出席者

会長	榑林
副会長	山口(利)、古澤
事務局長	秦野
事務局次長	及川
会員理事	(総務委員会企画部会・広報部会)瀧澤 (総合相談委員会)松本 (研修委員会)浅見 (ぱあとなあ運営委員会)四ノ宮 (司法福祉委員会)宮下 (災害対策委員会)伊藤
外部理事	片山、中村、水野、吉留
監事	市原、岡本(武)、
相談役	渋沢
計 理事 17名、監事1名、相談役1名	
欠席 白井、服部、石橋、高橋、竹嶋	

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・ 談話室の開催について(3月26日日曜19:00~20:30入社直前 フォローアップ交流会)
- ・ 2022年度関東甲信越ブロック連絡協議会幹事報告について
- ・ SW3団体研修について
- ・ 新社会福祉センターへの移転について
- ・ 事務局人事について
- ・ 外部理事(山下興一郎様)退任報告および外部委員の推薦について

(2) 議事

- ・ 退会者について
- ・ 2022年度補正予算案および2023年度予算案
- ・ 2023年度事業計画案
- ・ 総合相談委員会の新規委員メンバーの承認
- ・ JC模擬試験(JC教育研究所)の2024年度の契約無効の取消し願い
- ・ ぱあとなあ運営委員会の新規運営委員の承認
- ・ 司法福祉委員会の事業におけるスタッフ報酬について

(3) 各委員会報告事項に対する質疑

5. 議事録

○出席者の確認

事務局次長より、現在、Zoomによる出席者多数を認め、定款第34条により定足数に達しており、本理事会は成立すると報告。議案の審議に入った。

会長挨拶

3.11から12年になる。今までの暮らしが突然失われてしまう中でソーシャルワーカーとして何ができるのか忘れてはならない課題である。新しい事務所に移るが、入居団体お互いが気にかけ合える団体になるように望んでいる。今年度最後の理事会になるがお互いの意見を尊重し、進めていただきたい。司法と福祉の連絡会で子どものアドボカシーについて聞いた。子ども・若者分野について専門職としてどう取り組んでいくのか勉強となった。ホームページで障害がある方の高校受験の手伝いをすることを伝えたが、日本全国でも1,600人が定員未達なのに落されている現状がある。子どもたちの学ぶ権利や社会で生きていく力を養うために努力していきたい。今回説明事項も多いため議長は事務局次長にお願いする。

(1) 会長と三役会からの報告

○談話室の開催について（3月26日日曜 19:00～20:30 入社直前 フォローアップ交流会）

説明：副会長

企画部会の資料6-2。オンライン開催。1部では先輩ソーシャルワーカーからのワンポイントアドバイス、2部では不安に思うことの質問に答える。可能であればご参加いただきたい。

○2022年度 関東甲信越ブロック連絡協議会幹事報告について

説明：事務局次長

2月11日に開催した。事前にアンケートも取り活動報告や意見交換した。ICT化について悩まれていた。グーグルフォームによる研修受付やeラーニング導入も話題となつた。しかしながら大変で苦労していた。東京からは会場参加を頂いた。

(質疑)

- ・ eラーニング導入で困っていることは何か。
- ・ グループワークやハイブリットのやり方などで悩んでいらした。

○SW3団体研修について

説明：副会長

三団体で開催。外国人支援について東洋大学の南野先生ご講義。福祉や医療の支援が十分でない。ソーシャルワーカーも狭間に立つことがある。後半情報交換、生活保護を受給できないケースの報告もあった。

○新社会福祉センターへの移転について

説明：事務局長

4月2日オープニングセレモニー。駐車場は少ない。管理会社との打合せを行つたが会場のキャンセルについて返金がない。周到に準備検討した上で会場予約をお願いする。引越しの前後電話、メール等のつながらない時間帯が発生する。

(意見)

医療ソーシャルワーカー協会外部理事

- ・ 引き続きよろしくお願ひします。

精神保健福祉士協会外部理事

- ・ 連絡をいただき移転を進めている。引き続きよろしくお願ひします。

○事務局人事について

説明：事務局長

事務員 1 名職場復帰。事務員 1 名（ぼあとな所属）は 3 月末契約満期で退職。後任の求人を出している。

○外部理事（山下興一郎様）退任報告および外部委員の推薦について

説明：事務局長

山下先生が淑徳大学定年退職に伴い退任の意向。当初の後任候補が当会の会員でのため規程上外部理事になれない。日本ソーシャルワーク教育機関連盟に問合せし選定を進めている。

（意見）

- ・ 後任候補について、本会会員であることで外部理事になれないとすると本会への入会を阻害することにもなる。見直しも検討してほしい。
- ・ 今後整理が必要である。

（2）議事

○退会者について

説明：事務局長

資料の通りである。規程により資格喪失となる。

議長

資料のとおり連絡等をしたにもかかわらず未納となっている。賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め 4 人の退会は承認された。

○2022 年度補正予算案

説明：会長

大項目のみ読み上げる。繰越金は充当しない見込みがついたので減額した。トータルとして 400 万円以上プラスに改善した。ご審議お願いする。

（質疑応答後）

では賛成の方挙手をお願いする。

→賛成多数と認め 2022 年度補正予算は承認された。

○2023 年度事業計画案

説明：会長

重点事業内容 I ~VII を読み上げる。e - ラーニング導入。年号標記について西暦に統一（総務委員会）。研修委員会の () 番号を〇番頭に変更。他に②が二つになっていること、左寄せインテンド等修正。ご審議お願いする。

コロナからの経年変更、元号標記の統一、誤植の修正などになる。

（質疑）

- ・ 災害対策の研修の項目について変更はないのか。
- ・ 今年度災害の研修は行った。今後説明会になるが予算書の科目は増やさない。備考欄で説明を加える。

細かい部分の修正は事務局一任および新年度予算を反映という条件での承認を求める。

→賛成多数と認め 2023 年度事業計画は承認された。

○2023 年度予算案

説明：会長

大項目を読み上げる。300 万円の繰越金入れてプラスマイナス 0 円の当初予算案である。ご審議お願いする。

（質疑応答後）

次年度に関しては、60,478,272 円の当初予算となる。賛成承認の方は挙手をお願いする。

→賛成多数と認め 2023 年度予算案は承認された。

○総合相談委員会の新規委員メンバーの承認

説明：総合相談副委員長

資料のとおり2名の方の新規参加の承認を求める。

賛成承認の方は挙手をお願いする。

→賛成多数と認め、総合相談委員会の新規委員メンバー2名は承認された。

○JC模擬試験（JC教育研究所）の2024年度の契約無効の取消し願い

説明：研修委員長

資料の通りであるが、前回どうしても人員が足りなかつたので再来年度の契約をしないことで承認してもらつたが、その後5名確保できた。3名の残留も図れた。継続したい。

（質疑応答後）

賛成・承認の方は挙手をお願いする。

→賛成多数と認め、JC模擬試験（JC教育研究所）の2024年度の契約無効の取消しは承認された。

○ぱあとなあ運営委員会の新規運営委員の承認

説明：ぱあとなあ千葉運営委員長

資料のとおりであるが、1名の方の運営委員会参加の承認を求める。独立型でまじめな方である。

承認の方は挙手をお願いする。

→賛成多数と認め、ぱあとなあ運営委員会の新規運営委員は承認された。

○司法福祉委員会の事業におけるスタッフ報酬について

説明：司法福祉委員長

資料の①、②はすでに承認いただいていた。③マッチング支援に関しての承認をお願いする。今年度は2件であった。

（質疑応答後）

司法福祉委員長：今回のマッチング支援の報酬については委員会に持ち帰り検討する。

→司法福祉委員会の事業におけるスタッフ報酬については持ち越しにする。

その他

- ・ 新入会員はない。転入1名は承認事項ではなく報告事項である。

（3）各委員会報告事項に対する質疑

委員会から特別に報告したいことがあればお願いする。なければその他、お伝えしたい内容があればお願いする。

○松戸事業について

担当理事：今後の人員について（2人体制）

（質疑応答）

○委員推薦について

説明：副会長

さまざまな委員の推薦依頼がきている。エントリーシートを作ったので今後は記入してもらう。4期8年の任期で区切りをつけることも考えている。

事務局次長

では、以上をもって第8回理事会を閉会する。お疲れ様でした。

12時00分閉会